日本文化概論Ⅰ

科目ナンバリング　HIT-101
必修　　2単位

菅原　正子

1. 授業の概要（ねらい）

現代にもつながる日本のさまざまな伝統的文化の源流をたどり、それらの文化・思想的な意味を知ることによって、日本独自の文化への理解を深める。前期は古代～近世に形成された公家・武家・庶民などの諸文化を取り上げる。後期は主要な年中行事・人生儀礼を取り上げ、各儀礼の成立と変化をみていく。

2. 授業の到達目標

・日本のさまざまな伝統文化を具体的に知り、それらの特徴を説明できる。
・現代日本の年中行事・人生儀礼の本来の意味を知り、説明できる。
・日本文化の特質を知り、外国文化との違いを認識する。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート50%
小テスト20%
リアクションペーパー30%
※合計点が100点満点で60点以上が合格（単位取得）
※小テストの実施日・方法については授業で説明する。

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は使用せず、毎回プリントを配付する。

5. 準備学修の内容

・毎回の授業のプリントやノートを読み直して復習し、次回の授業についての予告にも目を通しておく。
・授業で紹介された事がらや参考文献に注意し、興味があれば自分でも調べてみる。

6. その他履修上の注意事項

・毎回提出するリアクションペーパーには、質問・疑問点や感想など、必ず何かを書くこと。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　日本文化の流れ
【第3回】　朝廷の儀式と有識故実
【第4回】　公家文化①和歌と和歌会
【第5回】　公家文化②雅楽
【第6回】　公家文化③蹴鞠（けまり）
【第7回】　神仏習合の思想
【第8回】　武家文化①合戦の旗と家紋
【第9回】　武家文化②禅宗文化との関わり
【第10回】　武家文化③戦国武将たちの信仰
【第11回】　教訓書・家訓にみえる思想
【第12回】　庶民文化①猿楽から能へ
【第13回】　庶民文化②お伽草子の絵巻物・絵本
【第14回】　寺子屋における学習
【第15回】　まとめ